

東北支部の歴史

日本応用地質学会 東北支部



はじめに

私たちが生活の礎となっている地盤や周辺を取り巻く環境は、46億年の地球の歴史とともに変化し、形作られてきました。日本応用地質学会会員は、遠い過去から将来に向かう変化の過程として現在の現象を捉え、私たちの社会が直面する、あるいは将来立ちちはだかるであろうさまざまな地質、地盤、環境の課題に答えて行く活動をしています。東北支部は、東北6県に居住、勤務する約200人の学会員それぞれの活動を支援し、共同の支部活動を通じて親睦と研鑽と社会貢献を3本柱として活動しております。そして、専門技術、学術を広く一般の方々にも分かり易く伝える普及活動に力を注いでいます。なお、東北支部の活動は、当学会の趣旨にご理解を頂いた約50の企業、団体から賛助、ご支援をいただいています。

東北支部 支部長 太田 保

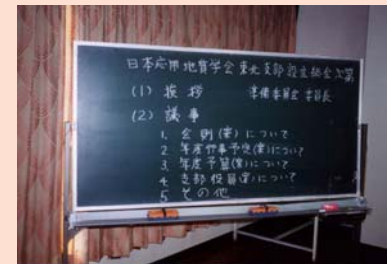
東北支部の沿革

昭和60年(1985年)8月31日に「東北ダム地質検討会」という任意団体としてスタート。その後、昭和63年より建設コンサルタント協会ダム地質部会下部機関として活動。おもにダムに地質調査に突出した活動を行い、屋には焼き肉パーティーをするなど懇親を深めるなど家庭的な活動を主としていました。平成3年(1991年)には、日本応用地質学会東北支部を発足させ、以後本格的な学会活動を開始しました。その後、平成13年には東北支部の設立10周年を迎え、記念行事としてオーストラリア巡検(OZ-2001)を行いました。平成15年~17年にかけては、市民への学会のアピール活動として近年発生が懸念されている「宮城県沖地震」に絡めたシンポジウムを開催し、好評を得ました。来年には、東北での3回目となる全国大会が山形で開催されます。

年度	日時	内容	概要
昭和60年度	昭和60年8月31日	「東北ダム地質検討会」という任意団体としてスタートを切る	
昭和61年度		講演会、室内技術検討会と忘年会を兼ねた室内検討会	
昭和62年度		北村信先生の講演と検討会、山形県白川ダム見学会、セツダム見学会の合計3回の活動	
昭和63年度		春の技術発表会、秋保地区築山ダム現場見学会、宮床ダム見学会の合計3回の活動	
平成元年度		春の技術発表会、宮城県花山ダム見学会、寒河江ダム見学会	
平成2年度		宮床ダム(掘削最盛期)と月山ダム(建設最盛期)見学、建設中の長大橋建設現場の見学、講演会「シルクロードと古代ダム技術の交流」	
平成3年度(1991年度)	5月18日	設立総会 支部発足	特別講演「開発と自然保護に関連して」北松治男氏 支部の目指す基本方針を述べた。
	9月26日	講習会	「防災地質の現状と展望」
	10月16日	見学会	鳴子ダム、奥平トンネル
	2月14日	第1回研究発表会	論文10編
	5月19日	第2回総会	
平成4年度(1992年度)	7月1日	見学会	月山ダム、最上川中流堤、立谷沢新橋
	9月18日	講習会	①「深部地下掘削に伴う岩石の異常破壊-山ハネ現象-」 ②「岩と土のための基礎力学」
	2月12日	第2回研究発表会	論文10編、特別講演2題 ①「高レベル放射性廃棄物地層処分研究の現状と桑原氏」 ②「岩盤斜面の変形と破壊」
平成5年度(1993年度)	5月21日	第3回総会	特別講演「東北地方の農業ダム地質と岩盤物性-特に軟岩地質-」高橋誠一氏
	7月16日	見学会	三春ダム、常盤道小野工事区
	9月1日	講習会	岩盤分類、本部協賛
	2月10日	第3回研究発表会	論文9編と特別講演「『今後の岩盤透視調査の方向と現場対話型解析』 ②「岩盤の割れ目とその取扱い」
平成6年度(1994年度)	5月20日	第4回総会	特別講演「ダム設計と地質調査」大藤謙彦氏
	7月15日	見学会	鬼首地熱発電所、上沢ダム、鬼首カルデラ
	9月2日	講習会	「地形(山地斜面、地すべり) ①「山地斜面の地形発達史的見方とその応用の可能性」 ②「微地形分類による地すべり運動特性の把握」
	2月3日	第4回研究発表会	論文11編および特別講演 特別講演 ①「新橋における地質調査」 ②「1993年北海道南西沖地震による奥尻島の崩壊」
平成7年度(1995年度)	5月19日	第5回総会	特別講演「地盤からみた阪神大震災」小島圭二氏
	10月4日	平成7年度研究発表会 全国大会	特別講演「津波研究の現状と防災」、「活断層による地震評価の方法-兵庫県南部地震の教訓-」 10月4日~5日の2日間開催
	10月6日	見学会	寒河江ダム、月山ダム
平成8年度(1996年度)	4月26日	第6回総会	特別講演「地質技術者はいかにダム建設に貢献してきたか」菅原 健氏
	6月28日	見学会	早池峰ダム、山王滝ダム
	10月25日	講習会	「兵庫県南部地震-地質地盤と災害-報告書」をテキスト
	2月28日	第5回研究発表会	論文9編+特別講演1題「常時微動の工学的利用」
平成9年度(1997年度)	5月23日	第7回総会・特別講演	特別講演「土石流の特徴と防止対策」今村達平氏
	9月19日	見学会	堰上ダム、成沢地すべり、常盤道四ツ倉工区(9月19日~20日)
	11月7日	ミニシンポジウム	「長町府前線と仙台の防災を考える」
	2月13日	第6回研究発表会	論文9編、特別講演「地盤工学-建設から防災、環境へのトレンド-」
平成10年度(1998年度)	5月29日	第8回総会・特別講演会	特別講演「地熱地帯の地下構造」佐藤 浩氏
	9月11日	見学会	森吉山ダム、澁川地すべり、澁川地熱発電所(9月11日~12日)
	11月20日	ミニシンポジウム	「応用地質学」の本部作成テキスト使用
	2月10日	研究発表会	論文8編および特別講演「情報工学と地質学との融合の試み-地質情報の可視化-」
平成11年度(1999年度)	5月14日	H11年度総会・特別講演会	特別講演「割れ目と崩壊」田中芳則氏
	9月3日	見学会	仙人トンネル、大船渡博物館、産生ダム(9月3日~4日)
	11月5日	ミニシンポジウム	「斜面地質学」テキストを使用
	1月28日	研究発表会	論文11編+特別講演 ①「地質・水文情報の総合化による広域水環境シミュレーション」 ②「台湾集集地震調査報告書」
平成12年度(2000年度)	5月12日	H12年度総会・特別講演	特別講演「21世紀の応用地質学について」(田野久貴氏、遠藤真一氏) ⑩周年記念行事企画説明と特別講演「フリンダーズレンジ及びシャークベイの地質、古生物」森 啓氏
	9月8日	見学会	R49本郷岩、滝坂地すべり、柳津山麓発電所、新宮川ダム 9月8日~9日の2日間
	1月26日	研究発表会	論文17編および特別講演「地質環境とアセスメント」 第9回IAEG(ネパールカトマンズ)に参加
平成13年度(2001年度)	5月11日	H13年度総会・シンポジウム	「日本の旧石器遺跡に地質学は何かを貢献できるか」 (旧石器遺跡をつつ問題)
	5月19日	10周年記念行事	5月19日~27日、「オーストラリア地質研修旅行」バス、アブロード、シドニー
	10月31日	研究発表会(全国大会)	10月31日~11月1日、郡山(日本大学工学部にて)発表90編 特別講演「御嶽山の最近の火山活動と噴火予知の現状」
	11月2日	見学会	磐梯山、楯倉代湖周辺 ※ この年、鬼首地すべり調査団の活動を行う。ホームページの運用開始
平成14年度(2002年度)	5月31日	総会 特別講演	特別講演「私と応用地質(広い視野、若々しい気持ち)」大島洋志氏
	9月20日	見学会	長井ダム
	11月15日	シンポジウム	「地質を知り未来に生かす」(後援:国土交通省、NHK仙台放送局)
	1月24日	研究発表会	論文10編および特別講演「仙台地域の地質環境と地震防災」
平成15年度(2003年度)	5月23日	総会・特別講演・研究発表会	論文8編および特別講演「活断層研究の現状と展望」井上大泉氏
	9月19日	見学会	宮城県栗原町地下すべり(9月19日~20日)鬼首陥没現象
	11月14日	地震防災シンポジウム	「迫りくる宮城県沖地震に備える」今、あなたがたのところは大丈夫か? -
平成16年度(2004年度)	5月21日	総会・討論会・研究発表会	論文数5編、討論会「若手技術者は地震災害でどう対応したか」、特別講演「災害報道のあり方-初動と課題-」森雅一郎氏
	9月10日	見学会	船沢ダム(ダムサイト周辺)及び東山町・川崎町(防災マップ関連) 9月10日~9月11日の2日間
	11月12日	地震防災シンポジウム	「迫りくる宮城県沖地震に備える(その2)-ここはどれだけ揺れる? 地域防災に役立つ地盤調査、地質図の解説-」 第4回アジアシンポジウム(中国香港)へ参加
平成17年度(2005年度)	5月20日	総会・特別講演	特別講演「摩擦角で自己制御された摩擦-摩擦滑動と地震すべり-」大槻憲四郎氏
	9月9日	研究発表会	討論会「これからの応用地質学の役割」
	9月10日	現場見学会	全地連フォーラムと合同で実施、論文10編 (女川発電所~2003年宮城県北部の地震石巻市岩盤崩落箇所~福島湾内会場運搬艇にて仁王山(補強工事)
	11月11日	地震防災シンポジウム	「迫りくる宮城県沖地震に備える(その3)-気象に「揺れ」をマッピング」DIG-
平成18年度(2006年度)	5月19日	総会・特別講演	特別講演「呼吸する岩盤-地盤-簡易計測のすすめ」田野久貴氏
	7月7日	研究発表会	討論会「若手からベテラン、ベテランから若手へ」
	10月13日	現場見学会	論文数6編および特別講演 ①「ピート層の進め」 ②「掘削に伴う環境汚染の調査対策の考え方」 玉川・八幡平方面(宿泊:湯瀬温泉)ダムと酸性処理施設の見学 第10回IAEG(イギリスノッティンガム)へ参加
平成19年度(2007年度)	5月18日	総会・特別講演	論文6編、特別講演「東北の土と縄文文化」山野井龍氏
	7月20日	研究発表会	討論会「宮城県沖地震に備える」シンポジウムフォローアップ
	9月28日	現場見学会	論文数7編、特別講演「中山間地における地震斜面災害-2004年新潟中越地震、2005年パキスタン北部地震の例-」
	11月16日	講習会	新第三系地層の標準模式的な岩盤地質学と地質学 「応用地質学講習会」 (注)日本地すべり学会と共催、応用地質セミナーのテキスト使用、 第5回 アジアシンポジウム(ソウル)に参加
平成20年度(2008年度)	5月23日	総会・特別講演	特別講演「気候変動の応用地質学の役割」菅原 健氏
	7月18日	研究発表会	論文数10編、特別講演「南部北上古陸の形成とその発展-南部北上帯の地質構造発達史」、 研究発表会(地形・地質 ハザード関連)6編、岩手・宮城内陸地震関連4編
	9月13日	災害調査派遣	平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震合同調査団による現地調査
	9月26日	現地研究会	宮城県気仙沼~岩手県大船渡の中・古生層
	10月30日	本部50周年・全国大会	「地質防災シンポジウム」関連のポスター発表と資料集CD配布 ・災害調査団の調査報告(ポスター)
平成21年度	10月22日	研究発表会(全国大会)	山形にて開催予定

東北支部発足準備期間

設立総会 東北支部発足



支部設立総会での支部長挨拶(故 北村信 先生)

本部作成テキストによる講習会を毎年開催

日本応用地質学会 全国大会を仙台で開催(東北で初めての開催)



見学会時の集合写真(山形県寒河江ダムにて)

1泊2日の見学会開始

支部長:田野久貴 副支部長:大村一夫

旧石器遺跡をつつ造問題に関するシンポジウムを開催

日本応用地質学会 全国大会を郡山で開催

この年、ホームページ運用開始

H15年 5月26日 三陸南地震 7月26日 宮城県北部地震 が相次いで発生

「迫りくる宮城県沖地震に備える」シンポジウム 第1回目 開催

「迫りくる宮城県沖地震に備える」シンポジウム 2回目 開催

「迫りくる宮城県沖地震に備える」シンポジウム 3回目の開催揺れやすさマップDIG

第6回IAEGアジアシンポジウム(韓国ソウル)での講演

ポスター2枚目へ

地震防災シンポジウムをうけ、一般市民への講演会を行う。

支部長:太田 保 副支部長:橋本修一

H20年6月14日 岩手・宮城内陸地震 発生

日本応用地質学会 全国大会を山形で開催予定 鋭意準備中、是非山形へ